

# 佐原五中だより

## 2年生スキー教室(1/15~17)。

### スローガン「ENJOY(エンジョイ)」見事に達成！

班長会の提案で決まったスキー教室のスローガン。

ENJOYとはもともと「楽しむ」という意味ですが、班長会はこの言葉に下記のような特別な意味をもたせるナイスアイディアで提案。学年生徒、全会一致の賛同を得て決定しました。

**E** (笑顔で)、**N** (仲良く)、**J** (常識を考えて)、**O** (思い出に残る)  
**Y** (良いスキー学習にしよう)

出発の数日前に降った大雪のおかげで、雪質はサラサラのパウダースノー状態。一面真っ白の銀世界をみんなで満喫できました。「スキーは初めて」という人も多かったですが、3日間の上達ぶりは目を見張るほど。みるみるうちに滑れるようになっていく姿に、「やっぱ、若いってすげーなー！」(ブラボー談)



宿泊場所の国立磐梯青少年交流の家では、体調をくずす生徒も少し出て正直大変な部分もありましたが、互いに友達を気遣ったり、進んで係の代役を引き受けてくれたりなど、サポートする姿には本当に感心させられましたし、私たち職員もかなり助けられました。

さらに交流の家で同泊となった茨城県・高萩の秋山中学校、銚子三中との交流の集いでは、生徒会長の学校紹介をはじめ、五中自慢の歌声を披露。他校の先生方に賞賛されるほどでした。

ふつう、日が経つに連れて疲れもたまり、動きや約束事がルーズになってきたりするものですが、この2年生は全くその逆。最終日になればなるほど、時間もきっちり、退所点検も一発OKという充実ぶり。スローガンどおりにやってのけた姿に、改めて2年生のすごさ・頼もしさを実感した3日間でした。



雪に埋められてるのはだーれだ

#### 【生徒の感想】

・この3日間を通して、このクラスとの思い出がまた新たにできました。初めてやるスキーは、最初は転んでばかりで苦戦しましたが、3日目にはスイスイ滑って楽しむことができました。宿泊施設では、ルールを守って安全に過ごすことができました。学年レクは負けてしまったけど、楽しく参加することができました。また、食事がとてもおいしく、たくさん食べました。友達と過ごす夜はとても新鮮で、なかなか眠れませんでした。でも、ものすごく元気でした。引率して下さった先生方、施設の方、楽しいレクを用意してくれたレク係ーみんなのおかげで最高に楽しく、思い出に残るスキー教室となりました。

(女子)

\*来年は1年生の番。1年生もパワーがあり、まとまりもあるのでどんなスキー教室を創りあげてくれるか楽しみです！



ナイスアイディアを提案してくれた班長会のメンバー12人衆です。

# 3年・公立高校進路志望調査結果！

これはあくまで進路希望状況。  
正式な倍率は出願終了後の2月  
7日以降の新聞発表で！

|  |        | 全体定員  | 前 期 選 抜 |       |        |        | 昨年度<br>の倍率 |
|-----------------------------------------------------------------------------------|--------|-------|---------|-------|--------|--------|------------|
|                                                                                   |        |       | 募集定員    | 志願者数  | 人数オーバー | 倍 率    |            |
| 成田北                                                                               | 普通科    | 3 2 0 | 1 9 2   | 3 0 0 | +108 人 | 1. 5 6 | 1. 7 5     |
| 成田国際                                                                              | 普通科    | 2 0 0 | 1 2 0   | 3 2 2 | +202 人 | 2. 6 8 | 2. 4 3     |
|                                                                                   | 国際科    | 1 2 0 | 1 2 0   | 2 2 7 | +107 人 | 1. 8 9 | 1. 5 4     |
| 下総                                                                                | 生産技術科  | 8 0   | 6 0     | 6 0   | + 0 人  | 1. 0 0 | 1. 4 7     |
|                                                                                   | 航空車両科  | 4 0   | 4 0     | 4 1   | + 1 人  | 1. 0 3 | 1. 4 3     |
|                                                                                   | 情報ビジネス | 4 0   | 3 0     | 4 0   | + 10 人 | 1. 3 3 | 1. 0 7     |
| 富里                                                                                | 普通科    | 2 4 0 | 1 4 4   | 2 3 2 | + 88 人 | 1. 6 1 | 1. 5 7     |
| 佐倉                                                                                | 普通科    | 2 8 0 | 1 6 8   | 5 1 5 | +347 人 | 3. 0 7 | 2. 7 0     |
|                                                                                   | 理数科    | 4 0   | 3 0     | 4 6   | + 16 人 | 1. 5 3 | 2. 1 0     |
| 四街道                                                                               | 普通科    | 3 2 0 | 1 9 2   | 4 6 5 | +273 人 | 2. 4 2 | 2. 0 0     |
| 佐原                                                                                | 普通科    | 2 8 0 | 1 6 8   | 3 2 3 | +155 人 | 1. 9 2 | 1. 6 0     |
|                                                                                   | 理数科    | 4 0   | 4 0     | 3 9   | － 1 人  | 0. 9 8 | 0. 9 5     |
| 佐原白楊                                                                              | 普通科    | 2 0 0 | 1 2 0   | 2 6 1 | +141 人 | 2. 1 8 | 2. 3 0     |
| 小見川                                                                               | 普通科    | 1 6 0 | 9 6     | 1 7 0 | + 74 人 | 1. 7 7 | 1. 4 5     |
| 多古                                                                                | 普通科    | 8 0   | 4 8     | 5 7   | + 9 人  | 1. 1 9 | 1. 4 0     |
|                                                                                   | 生産流通   | 4 0   | 4 0     | 3 0   | － 10 人 | 0. 7 5 | 1. 2 0     |

## この表の見方！

成田北高校を例にとって説明すると最終的な募集定員（前期・後期合わせて）は320名。

そのうちの60%の192名を合格させる——この試験が「前期選抜」です。現在、300名の希望者が来ているので、192名が合格し、定員オーバーしている108名が不合格になるということです。倍率（競争率のこと）は1.56倍で1.56人に1人の割合で合格するということになります。

※一般的に倍率が1.60～1.70を超えると「倍率が高い、競争率が高い」と言われます。2.00を超えている学校は合格する人より、不合格になる人の方が多いので、かなりの激戦区と言えます。

倍率が1に満たない0点台は、募集定員よりも志願者数が少ないケースで、いわゆる「定員割れ」といわれます。しかし、志願者の人数が定員より少ないからといって全員合格できるというわけではありません。

高校としては、後期選抜もありますし、最終的な二次募集も考えて受験生をとることができるからです。

ゆえに「定員割れ」とはいえ決して油断はできません。



全体定員から前期選抜合格者数を差し引いた人数が、「後期選抜」の募集定員となります。

# 公立高校前期選抜・出願手続き（2/3・金）



公立前期選抜を受検する生徒54名は、この日、自分で書類を高校に届け、受検票をもらってきます。

（\*私立高校の場合は「試験」を受けるため「受験」と表記しますが、公立高校の場合は「入学者選抜の学力検査・適性検査」を受けるため「受検」と表記しています。あらかじめご了承ください。）

そして、前期選抜の検査は2/13（月）、14（火）の2日間にわたって下記の内容で行われます。

「願書」（がんしょ）とは、「（試験を受ける）許可を得るために提出する書類」のことです。

願書の提出日には、各中学校から受検者がたくさん集まりますので、手続きに時間がかかる場合もあります。

**\*適性検査と自己表現はほぼ同じもので、面接や作文が運動部の実技か、検査内容は本人が選択します。**

| 高校名       | 1日目                         | 2日目         |
|-----------|-----------------------------|-------------|
| 成田国際      | 5教科筆記テスト<br>*全ての高校、同一の問題です。 | 適性検査        |
| 成田北       |                             | 面接（集団）      |
| 下総        |                             | 面接（個人）      |
| 富里        |                             | 適性検査        |
| 佐倉        |                             | 面接（集団）      |
| 佐倉東       |                             | 面接（個人）      |
| 四街道       |                             | 適性検査        |
| 佐原        |                             | 作文          |
| 佐原白楊      |                             | 作文          |
| 小見川       |                             | 適性検査        |
| 多古        |                             | 面接（個人）＋自己表現 |
| 千葉大宮（通信制） |                             | 面接（個人）＋作文   |

## 吹奏楽個人コンクールで3名が見事に銅賞獲得!



◇吹奏楽部 県吹奏楽個人コンクール東部地区大会（1/21～22・東総文化会館）

冬休み中から特別講師を招いて教えていただくなど、熱心に練習に取り組んできた3名が、個人コンクール東部地区大会に出場。下記のとおり、見事に銅賞を獲得しました。



|          |          |    |           |
|----------|----------|----|-----------|
| 木管の部     | （フルート）   | 銅賞 | 日〇さん（2-1） |
| 金管・打楽器の部 | （マリンバ）   | 銅賞 | 木〇さん（2-2） |
| 金管・打楽器の部 | （トロンボーン） | 銅賞 | 高〇さん（2-1） |

## 「いじめアンケート」実施のこの機会に

考えてみないか

「一人じゃないよ」

沖縄県の中学1年生

現在、学校では「いじめアンケート」を実施しています。早期発見・早期対応を最優先にしながら、こうした機会にアンケートだけでなく、「いじめ」について真剣に考え、認識を深めることも大切だと思います。

ここに紹介したのは人権作文の一例ですが、友達同士で、あるいは親子で、どう思うか、ぜひ話し合ってみてください。

すべての人は、生まれながらに人間らしく幸せに生きる権利があり、誰もその権利を侵すことはできないと、日本国憲法でも基本的人権の尊重が定められ、保障されている。それなのに私達の周りには、差別やいじめが後を絶たない。

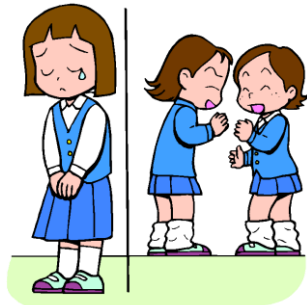
幼稚園のときからずっと変わらないこのクラスの中に、いじめがあると初めて知ったのは小学校四年生の時だった。いや、私は4年生の時まで知らないふりをしていたのだ。いじめの標的となるのは、おとなしいとか、背が低いとか太っているとか、優しすぎて何か言われても言い返せない、といった人たちだった。

私は、その頃からいじめのリーダーに近づき、仲良くなった。自分がいじめの標的にされるのが怖かったからだ。リーダーの言うことは、何でもよく聞き、行動した。初めは無視、そして物を隠す。それがエスカレートしてノートへの落書き、ありもしない悪口を言うなどだった。いじめをするのは簡単なものである。遊び半分という感じで、相手の気持ちなど考えもしない。いじめっ子達は楽しそうによく笑った。私もつられて笑ったりした。

しかし、後悔は物事をやって終わった後にやってくるものだ。そして相手にした悪事は必ず、自分にもふりかかってくるものだということを強く感じた。

5年生の2学期のある日、私のノートがなくなっていた。それだけではなく靴もなかった。翌日、返ってきたノートは落書きだらけで、靴は汚れた上にぬれていた。誰も口をきいてくれず、私は一人でいることが多くなった。初めて、いじめられた人の傷の痛さを味わった。人の前では涙を見せなかったが、私の心はいつも泣いていた。さびしくて、怖くて、悲しくて、心が痛くなることを初めて分かった。

自分もいじめをしたこともあって、親にも先生にもつらい気持ちを伝えることができなかった。



これまで親や先生方は、いじめが悪いことだと、いじめで自殺した子の例をあげて話した。いじめに加わっていた時は、私達はそんなになるまではいじめないさ、と思った。事実、殴ったり、たたいたりすることはしなかった。しかし、ここで考える必要がある。無視は無言の暴力、物を隠すことはひきょうな行動の暴力、悪口を言うことは言葉の暴力だということを……。中学生になった今だから言えることである。

私へのいじめが1ヶ月ほど続いた頃、新しい子が標的にされた。それは転校生のAさんだった。いじめのリーダーと2、3人が来た。「あいつちょうムカつくよね」とリーダー達。「何が？」私は精一杯の抵抗をした。いじめっ子達は「覚えておけ」と言わんばかりに、私をにらみつけて去った。明らかに私を、いじめる側につかせる誘いだった。Aさんを一人ぼっちにさせたかったのだ。私は、もういじめる側の仲間に入る気は全然なかった。むしろ、Aさんのことが気になった。なぜ罪もない優しいAさんが、こんなにおびえて学校に来なくてはならないのか。

私は考えた。私にできることは何だろうか。私もいじめられているからできることが一つあった。それはAさんに手をさしのべることだった。いじめられる中で、私が一番してほしかったことを今、してあげなければと思った。私はAさんに、心の底から思いをこめて言った。

「あんたは一人じゃないよ」たった一言だったけど、ちゃんと伝わった。Aさんは泣きながら、「ありがとう」と言った。翌日、Aさんの笑顔がまぶしく輝いていた。私、助けられたんだ。とてもうれしかった。もう私も一人でないことを感じた。私とAさんは、いじめを受けていることを先生や親に話した。

学級では、「いじめ」について話し合った。司会になった私は、まず自分がどないいじめをし、どないいじめをされたかを隠すことなく話した。他のいじめた人達、いじめられた人達も真実を正直に話してくれた。先生は、いじめは、人の自由、平等、幸せに生きる権利をこわす行いだからあってはならないことを分かりやすく話された。私達は、この学級からいじめをなくすことを誓い合った。

あれから2年、今私達は中学1年生。やっぱり、あの時から変わらない顔ぶれの学級である。でも、あれ以来一度もいじめは起こっていない。男女を問わず仲がよく、誰でも思ったことが自由に言える楽しい学級である。皆さん、いじめを見たり聞いたりしたら、知らんふりをせず、必ず、思いやりの手を差しのべてほしい。先生や親などに知らせることも一つの思いやりだと言える。私は「この世の中にいじめはあってはならない」ことを、これからも訴え続けていきたい。

